

高知大学大学院<教職大学院> 令和6年度派遣候補教員 募集

高知県では、本県の教育課題の解決に向けた取組を先導できる中核教員を育成することを目的として、高知大学大学院<教職大学院>への現職教員派遣研修を実施しています。

高知大学大学院<教職大学院>への派遣研修は、

***事前研修（1年間）+本研修<大学院派遣>（2年間）の「3年プログラム研修」として実施します。**

研修内容

令和5年度（事前研修、大学院受験）

《事前研修》1年間

派遣候補者として選考された教員は、派遣前の1年間、在籍校等で勤務しながら、実習コーディネーター（高知県教育委員会事務局高知大学連携担当）による指導のもとで、高知県の教育課題の解決に資するための研究テーマの設定、研究計画の立案、研究資料の収集、研究テーマに基づく実践等を行い、本研修<大学院派遣>に備えます。

令和6・7年度（大学院派遣）

《本研修—大学院派遣—》2年間

大学院のカリキュラムに沿った講義等の受講及び研究テーマに基づく研究・実習等を行います。

＜実習＞実習校（在籍校等）において、1年目：20日間 2年目：30日間実施

●派遣中のサービス・給与等…長期研修の扱い

- ・身分…教員の身分を有する
 - ・給与…全額支給（通勤手当は、大学を公署として支給）
 - ・旅費…赴任・帰任旅費のみ支給（実習等に係る旅費は自己負担）
- ※その他、大学院受験料、研究費等は自己負担

●入学金及び授業料の負担…自己負担

※県が入学金等を一部負担することを予定しています。

（但し、予算が通らない場合は全額自己負担となります）

※派遣研修終了後、5年に達するまでの期間内に離職した場合、県が負担した研修費用を返還していただくことになります。

派遣コース・研究分野・校種・募集人数・応募資格年齢

※応募資格年齢は、令和5年4月1日現在の年齢です。

派遣コース	研究分野	校種	募集人数	応募資格年齢
【学校マネジメントコース】	学校組織マネジメント	小学校	1名	37歳以上～ 49歳以下
		中学校	1名	
		高等学校	1名	
	生徒指導	小学校	1名	47歳以下
【授業実践コース】	数学	中学校	1名	47歳以下
	道徳	中学校	1名	
【特別支援教育コース】	特別支援教育	小学校	1名	47歳以下
		高等学校	2名	
		特別支援学校	1名	

参考

【学校マネジメントコース】

学校の教育活動を効果的にマネジメントして組織改革を実行することができ、また、不登校などの生徒指導上の諸課題にも組織的に対応できる学校・学級経営を推進しリードできる人材を育成する。

【授業実践コース】

教科等の学習指導などの教育実践の高度化を図って全ての子どもたちに質の高い学びを保證することができ、また、授業実践に関する研究を組織しリードできる人材を育成する。

【特別支援教育コース】

個別の障害像に即した実態把握に基づき個別の指導計画を立案し、それを実践して適切な教育評価により指導の効果を検証することができ、また、特別支援教育に関する組織的な推進体制を構築できる人材を育成する。

◆高知大学教職大学院派遣については、以下のHPも参考にしてください。但し、令和4年度にコース名称等が変更されています。

≪高知大学教職大学院≫<http://akebono.ei.kochi-u.ac.jp/kyosyokuin/>

応募資格

次に掲げる要件を全て備える者とする。

- (1) 現在、高知県の公立小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校に勤務する主幹教諭、指導教諭、教諭又は教育委員会に勤務する教員籍の職員であって、大学を卒業し一種免許状を有する者であること。
- (2) 高知県の教育公務員として3年以上勤務した経験を有する者であって、かつ、原則5年以上学校の勤務経験を有する者であること。(令和5年4月1日現在)
- (3) 原則、次の年齢に該当する者であること。(令和5年4月1日現在)

【学校マネジメントコース】<学校組織マネジメント分野>37歳以上～49歳以下

【学校マネジメントコース】<生徒指導分野>47歳以下

【授業実践コース】47歳以下

【特別支援教育コース】47歳以下

- (4) 大学院修了後も、引き続いて高知県の教育公務員として勤務する意志を有する者で、高知県の教育課題解決の中核的役割及び指導的役割を果たす者であること。
- (5) 心身ともに健全で、長期研修に耐え得る者であって、派遣期間中、研修に専念できる者であること。

※詳細は、別添「令和6年度高知大学大学院<教職大学院>派遣研修募集要項」、「高知県教育公務員大学院派遣要綱」、「高知大学大学院<教職大学院>3年プログラム研修要項」を必ず参照してください。

手続

◆県教育委員会への所定書類の提出 → ◆県教育委員会による面接・選考 → ◆派遣候補教員決定

※市町村（学校組合）立学校教員は学校長及び市町村（学校組合）教育長の推薦書、県立学校教員は学校長の推薦書、教育委員会事務局等の職員は所属長の推薦書が必要です。

※手続の詳細は、別添「令和6年度高知大学大学院<教職大学院>派遣研修募集要項」を参照してください。

派遣修了者の声(令和3年度修了・第3期生)

<旧学校運営コース修了>

高知市立三里小学校
教諭 中澤 悠子



教職大学院では、「協働的に学び続ける学校を実現するための方策を探る」をテーマに研究を行いました。テーマ設定に際しては、在籍校の課題解決を目指すと同時に、高知県の教育課題の解決に資するものとなるよう繰り返し検討しました。

入学前年度から始まる研修期間には実習コーディネーターの先生から、また、入学後には指導教員の先生方から温かくご指導をいただき、自身の問題意識に沿って研究を進めることができました。

「理論と実践の往還」を体現する教職大学院での生活は、大変なこともありましたが、それ以上に、新たな学びを得て自身の見方や考え方が変容していくことへの喜びの方が大きかったです。理論を学ぶことで、感覚的だった自身の実践を見直したり、価値付けたりすることができ、今後の実践への意欲が高まりました。また、自身の考え方がいかに一面的であったかに気付き、より広い視野で学校を捉えようという意識が芽生えました。

そして何より、年齢や校種が異なっても、同じ志を持つ素晴らしい仲間と出会えました。高知大学教職大学院で過ごした2年間は、私にとってかけがえのない宝物です。

<旧教育実践コース修了>

四万十市立中村中学校
教諭 若松 柚似



教職大学院では、「理科の見方・考え方を働かせた科学的に探究する学習指導の在り方」をテーマに研究を進め、改めて科学の歴史や子どもの概念形成について学び、理論に基づいた授業実践を目指しました。実習の中で行った授業実践は、理論に基づいて省察することを繰り返しました。実習校の担当の先生、大学の指導教員の先生、実習コーディネーターの先生が何度も授業を参観しご助言をくださり、新たな授業改善の視点等に気付くことができました。研究を通して、「理論と実践の融合」の重要性を実感した2年間となりました。

また、頼もしい仲間との出会いは私にとって財産になっています。これからの学校教育の在り方について講義の中で何度も語り合い、生徒理解、学力保障、学校運営等、様々な教育活動において、これまで自分自身が持っていなかった多くの視点を得ることができました。

大学院での学びにより、自分自身の教師としての見方や考え方が大きく変容していることを日々実感しています。今後も大学院で学んだこと得たことをいかし、実践を深めていきたいと思っています。

<特別支援教育コース修了>

高知県立山田特別支援学校
教諭 土居 一平



「理論と実践の融合」というキーワードを、在学中に幾度も耳にしました。自分の教員生活を振り返った時、子どもたちとの触れ合い、支援方法、授業実践、学級経営等、様々な場面において取り組んできた「経験」がありました。「その経験は、教育理論に基づいたものだったのか」、「感覚的な指導で行われていなかったか」、講義やゼミで、自分の実践を回顧する2年間でもありました。理論ベースで考えること、主観だけでなく客観的に物事を俯瞰するスキルをもつことの重要性を改めて学びました。

在学中は、「知的障害特別支援学校におけるライフスキルの視点に基づいた道徳の研究」をテーマに、知的障害のある児童生徒に対する「特別の教科 道徳」の在り方、実践方法について、アンケート調査や先行研究、授業実践を通して研究をしました。全国的な研究の高まり、研究・実践の蓄積が必要とされている中で、在籍校と協力しながら、調査・授業実践を重ねられたことは、大変贅沢で貴重な時間でした。

また、校種や経験を越えた同期とのつながりは、院生生活を送る上で大きな支えであったと思います。教育について熱く語り合える仲間は、これからも心強い存在です。

問合せ先

高知県教育委員会事務局教育政策課 高知大学連携担当 三好 電話 088-821-4726

※市町村（学校組合）教育委員会または所属長を通じてお問い合わせください。